

外務省21世紀環境立国戦略関係平成20年度予算案について

(百万円)

全体計上額		11,267.3
戦略別計上額		
戦略1	9,187.1	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年以降の温暖化対策の国際的な枠組みの構築に向けた「3原則」の提案:46.1(27.2) ・各国の京都議定書目標達成に関する調査:5.5(5.5) ・アフリカにおける気候変動・環境問題への取組:2,531.6(0)
戦略2		
戦略3		
戦略4	2,080.2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境プログラム無償 1,500(0)
戦略5		
戦略6		
戦略7		
戦略8		

※重点施策推進要望のうち21世紀環境立国戦略分野に該当する予算額

7,191.8



外務省における21世紀環境立国戦略関連 主な予算概算要求

戦略1

●2013年以降の温暖化対策の国際的枠組の構築に向けた 「三原則(注)」の提案 46.1百万円

次期枠組みにつき、専門家の知見を得て議論を行う非公式会合及びG8プロセスにおける世銀、IEAも活用した具体的方策の検討会合の開催。これらの会合において次期枠組みに関するわが国の「三原則」を説明し、支持を求める。

(注) 三原則

- ・主要排出国が全て参加し、京都議定書を超え、世界全体での排出削減につなげること。
- ・各国の事情に配慮した柔軟かつ多様性のある枠組みとすること。
- ・省エネ等の技術を活かし、環境保全と経済発展とを両立すること。

●各国の京都議定書目標達成に関する調査 5.5百万円

主要国における温室効果ガス排出削減対策の現状、見通しに関する調査を行う。

●アフリカにおける気候変動・環境問題への取組 3,111.8百万円

2007年のAU総会で気候変動が主要テーマになったことを受け、さらに、2008年のTICADIVやG8北海道洞爺湖サミットに向けて、気候変動に脆弱なアフリカ諸国に対して緩和策及び適応策の支援を行う。



戦略4

●環境プログラム無償 1,500百万円

気候変動対策に対象を絞り、途上国の政策・計画の策定への支援から具体的な施設・機材整備まで、個々の途上国の事情に応じ、幅広い範囲を対象として協力を行う。